

(参考)授業用スライド導入版<抜粋>

※詳しくはこちらをご覧ください⇒



大阪府のあいだりがみ・すどろく導入用スライド (導入版)



「しょうがい」ってなんだろう

(大阪府のあいだりがみ)

大阪府のあいだりがみ・すどろく制作委員会



このポスターは、  
何のマークを書いたものでしょう？

(出典：大阪府)

ヘルプマーク



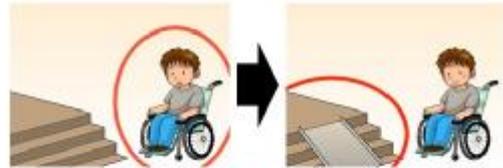
外からはわからなくても  
助けがひつような人ための  
マーク。

わたしたちの周りには  
いろいろな人がくらしています。

- 目が見えにくい人
- 耳が聞こえにくい人
- 車いすを使っている人
- からだの中のはたらきがうまくいかない人
- 気持ちや考えをうまく伝えられない人

など、「ふべん」を感じている人がいます。

くらしの中でふべんを感じたり、  
こまったりすることがあることを  
「しょうがい」があるといいます



まわりの人のおてつだいやくふうなどで  
くらしやすくなる人がいるはず。

みんながくらしやすい「社会」になるために。

目に障がいのある人が、  
えきのホームを安全に  
いどうするためには  
どうすればいいでしょうか？



ホームドア、  
かどうしきホームさく  
をせっちする。

みんながくらしやすい「社会」になるために。

しょうがいのある人もないひとも、  
みんながくらしやすい社会にしていくには、  
だれもがくらしやすいかんきょうづくりが  
大切です。  
皆さんの身近なところではどうでしょうか。

また、自分たちには何ができるのか、  
かんがえることも大切です。

自分たちにできることって何かな？



みんなも、くらしの中で、ふべんをかんだり、  
こまったりすることはありますか？

にもつが多くて、  
両手がふさがっているとき。

手をけがしているとき。



だれかが声をかけてくれたら・・・  
だれかが助けてくれたら・・・



誰かがお手伝いしてくれたら助かることって  
他にもないかな？①



「ふべん」をかんでいるひとがいたら、  
「お手伝いしましょうか」と声をかけましょう。

しょうがいはまわりのかんきょうで変化します。  
しょうがいのある人が、  
くらしやすい工夫についても考えてみましょう。